

女夫石遺跡発掘調査速報

No.12

甲斐の国は山に囲まれています。台風が来たり、雪が降ったりすると、陸の孤島になってしまいます。でも甲斐の国を囲んでいる山々はいろいろな形をしています。そんな山々には神々が住んでいると考えられていました。その、甲斐の国は神々に囲まれた国なのです。女夫石縄文人はどんな山の風景を見たのでしょうか？今回はコンピューターグラフィックを駆使して、その風景をご紹介します。



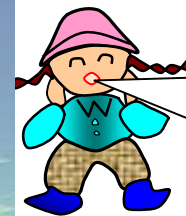
「カメラ3D Ver8.2 Copyright (c) 1994-2004 SUGIMOTO, Tomohiko.」にて作成

秋分の日約一ヶ月前、女夫石遺跡から見る夕日は、甲斐駒ヶ岳の山頂に沈みます。



「カメラ3D Ver8.2 Copyright (c) 1994-2004 SUGIMOTO, Tomohiko.」にて作成

- 沢リ：盆も明けて、ちょっと涼しくなってきたね、でも現場は相変わらず暑いね！日が暮れるのもちょっと早くなってきたかな？
- マキ：そーいえば、女夫石遺跡から秋分の日に見ると、地藏ヶ岳に日が落ちるらしいよ。その丁度一ヶ月前には甲斐駒ヶ岳の山頂に日が落ちるんだってさ！今年は曇りが多くて観測は出来なかったらしいけど・・・
- 沢リ：目立つ山に丁度日が落ちるならカレンダーの代わりになるね。秋分の日には昼と夜の時間も半分になるし、何か意味があるのかな？
- マキ：自然のカレンダーを使って、お祭の日を決めたり、その準備を始めたりするんだっていう偉い先生もいるみたいだよ。北杜市の梅ノ木遺跡でも目立つ山に日が沈むらしいよ。
- 沢リ：どんな、お祭りをしていたんだろうね、考えるとワクワクするね。きっと考えもつかないようなことをしたんだろうなあ。
- マキ：そうだったら面白いね！でも、縄文時代の頃はもっと木がたくさんあったし、大きかったかもしれないから、女夫石縄文人は本当に日没を見ることができたのかなあ？もし、見えたんなら、家のまわりには大きな木はほとんどなかったのかな？それとも、遠くを見渡すことの出来る大きな建物でもあったのかな・・・
- 沢リ：・・・発掘調査で少しは分かってくるといいね・・・(つづく)



秋分の日、山に雲がかかっていなかったら、本当にオベリスクに日が沈むかみんな確かめにいこう！日が沈むのは何時頃になるかは、日没の時間をこれから気にしていればきっと分かるはずだよ！

秋分の日、女夫石遺跡から見る夕日は、地藏ヶ岳のオベリスクに沈みます。目立つ山の頂上に日が沈むのが丁度秋分の日なのです。偶然なのでしょうか？

真も見てね！

めおといしいせき 女夫石遺跡発掘調査見学会

今から4500年前、女夫石縄文人はどんな生活をしていたのでしょうか？

地面から突き出る大きな岩の回りから、たくさんの壊れた土器といっしょに土偶(どくう)・石棒(せきぼう)・ミニチュア土器が発掘されました。

さらには、石に沢山のくぼみのついた蜂巢石(はちのすいし)もまるでそこで何か作業していたかのように発掘されました。もちろん女夫石縄文人の住まいも見えています。

発掘調査の途中経過を多くの皆さんに見ていただきたいと思い、今回見学会を開催することとなりました。この機会に、女夫石縄文人に思いをめぐらせてみませんか？

開催日：平成18年 9月17日(日)

説明を開始する時間 午前9時・午前11時30分・午後2時30分(計3回)

～説明は約1時間です～

集合場所：穂坂町宮久保(女夫石遺跡調査地) 下記参照

*駐車スペースは20～30台程度です。近隣の方はなるべく徒歩をお願いします。

*雨天中止(少雨決行)とします。



ココが発掘調査現場です。
葦崎インターを過ぎて、セブンイレブンの先、右手にお蕎麦屋さんのあるちょっと狭い道を左に入ります。少し下ると右側に発掘調査現場が見えます。



お問合せ：葦崎市教育委員会 教育課 生涯学習担当
0551-22-1111 (内線269)

女夫石遺跡の発掘調査の説明会が現地であるよ！博物館に展示されている土器や土偶が遺跡からどんな風に出てくるのかをナマで見ることができるんだよ！
みんなで見に行こうよ!!!



一日に3回、説明を開いてくれるなら、買い物ついでにでも見に行けるね！
駐車場は狭いらしいから、なるべく歩いていくか、みんなで乗り合わせて行った方がいいみたいだよ！
当日、雨が降らなければいいね!!



作成：葦崎市教育委員会 教育課 生涯学習担当 「UT」
0551-22-1111 (内269) 平成18年 8月28日